

2017年(平成29年)1月25日(水) 第26回 例会 (通算2732回)



人類に
奉仕する
ロータリー

RI 会長: ジョン・F・ジャーム

Weekly Report No.2613

Rotary International District 2580

石垣ロータリークラブ



石垣ロータリークラブ

地区ガバナー: 上山 昭治氏

「出会いを大切に」

ロータリーレート \$1=¥116

石垣ロータリークラブ55年のあゆみ

1983~1984年度



二十三代会長 宮良 長欣

副会長	山田 隆一	幹事	宮良 徹
副幹事	勢頭 政行	会計	翁長 良樹
会場監督	豊川 善吉	クラブ奉仕	山田 隆一
社会奉仕	富川 盛博	職業奉仕	山城 明
国際奉仕	豊川 敏彦		

- 石垣ローターアクト再発足(1984.12)
- 職場訪問(石垣島製糖・マリヤ乳業)例会
- 会員増強目標達成 RI 会長賞を受賞

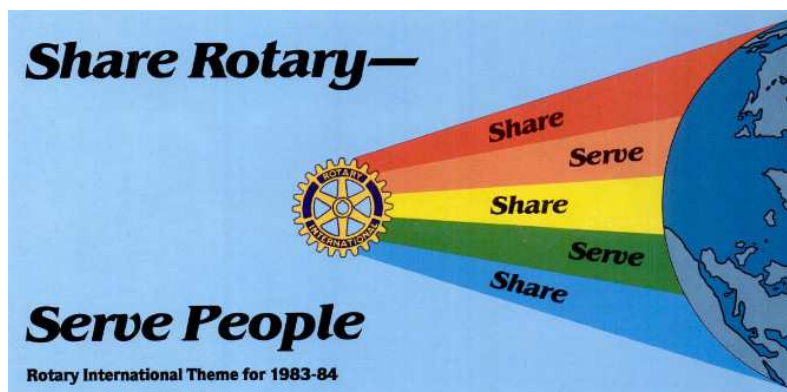
《社会情勢》

- 1984年
- ・新空港問題ついに機動隊も導入
 - ・サトウキビ生産復帰後最高に
 - ・1フィート運動大きく盛り上げる
 - ・鳩間超学校が10年ぶりに復活
 - ・与那国の祭事芸能、国の重要文化財に



1983~84年度 RI会長
ウィリアム E.スケルトン
(米国・クリスチャンスバーク・
ブラックスバークRC)

【RIテーマ】



みんなにロータリーを みんなに奉仕を

会 長 : 前木 繁孝 副 会 長 : 大浜 一郎 幹 事 : 前原 博一
副 幹 事 : 宮城 早人 SAA・出席: 遠藤 正夫 情報・会報: 宮良 薫

例会日 水曜日 12:30~13:30
例会場 ホテル日航八重山(0980)83-3311
事務局 〒907-0013 石垣市浜崎町 1-1-4

TEL/FAX(0980)83-2917
URL <http://ishigaki-rotary.jimdo.com>
E-mail ishirotyar@ninus.ocn.ne.jp

— . . . — 第2731回 2017年1月18日(水) 例会報告 — . . . —

■司会進行： 大城 文博

■ロータリーソング：手に手つないで・四つのテスト

■ソングリーダー： 松林 豊

■メイクアップ： 仁開一夫・渡久地明・佐久本 達
上原 晃子・遠藤 正夫

■出席報告

会員総数 39名 出席義務会員 38名
出席数 26名 欠席数 12名
出席率 68.42%(1月通算出席率 68.42%)

☹️ 本日のここここ

	小 計	累 計
BOX	¥4,000	¥136,000
コイン	¥3,584	¥100,227
合 計		¥236,227

○本日は西大舛高旬竹富町長をお迎えして！竹富町の限りない発展をご祈念申し上げます。

(前木 繁孝)

○竹富新町長のゲスト卓話に感謝申し上げます。

(上勢頭 保)

○希望ヶ丘チャリティグランドゴルフ大会、1/21 お天気に恵まれますように。感謝！ (宮良 榮子)

○西大舛竹富町長、卓話ありがとうございました。

(大浜 勇人)

会長挨拶：前木 繁孝

今日のソングリーダーの松林社長、てきぱきと気持ちよく指揮棒をふるって頂きました。初めてとは思えないような見事な指揮ぶりでした。石垣島製糖の操業も始まって、いい成績を出すべく努力されている事だと思います。ぜひ安全操業で乗り切って頂きたいと思います。

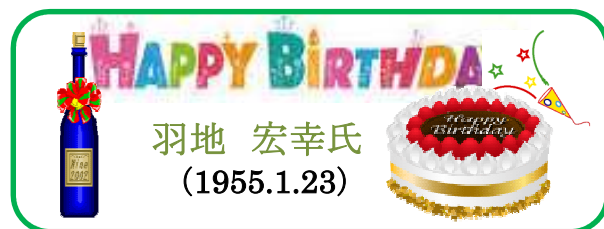
今日はまだ真新しい竹富町長にお越し頂いております。町長には竹富町のこれからの展望と町長自身の抱負をお聞かせ願えればと思っております。

いよいよ来月2月1日・2日で地区大会があります。今のところ20名の皆様の登録を頂いています。私と仁開さんで16日にホストクラブの上野RCへ新年のご挨拶と地区大会陣中見舞いを兼ねてメイクアップに行きました。1年前から段取りを始めて、いよいよ大詰めに入っていて、すごくバタバタしていました。250万から300万ほどの今のところは赤字が出ると、それをどうやって抑えるか、コーヒーを止めるか、一番高いワインから減らすか、そんな話をしておりました。夜はた

くさんの皆様の歓迎を受けまして、我々に対して20名の会員の皆様が集まって頂いて、盛大にご馳走を頂きました。そして翌日、嶋村会長の下、東江戸川RCにもメイクアップをしてまいりました。嶋村会長はロータリーの認識も高いし、すごい努力をされている方で、てきぱきとした例会を見てまいりました。たまたまその日は30分例会でしたが、1時間を30分に凝縮してこなしている姿を見て、すごいなと思いました。当クラブに参考になる部分もありましたので、皆さんと相談して取り入れられたらと思います。夜は東江戸川RCの歓迎を受けまして、ごちそうになって参りました。上野RC、東江戸川RCとも石垣ととも仲良くなってきています。それも上勢頭さんや仁開さんの時代に繋いできたおかげで、こうして我々が行っても歓迎してくれるし、色々教えてくれるという良い関係を持っていると思います。本当に感謝申し上げます。我々石垣の末端にいながら東京の、地区大会に出て帰ってくるだけでなく、お迎えしてくれるクラブがいくつかあるのは非常に有難い事だなど、ロータリーに関して色々奉仕の精神を学べる環境という事を痛感してまいりました。今後もこの繋がりを大事にして行ければと思います。残り半年間、私、幹事共々よろしくお願いをしたいと思います。後半になりますからパワーを持って楽しい例会を創っていきたいと思っています。

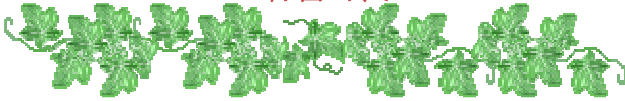
会員報告：松林 豊

ここしばらく参加できなくて申し訳ございません。1月6日から操業を開始しました。幸い天候にも恵まれて、どうしても去年と比較してしまうので、去年の地獄のような思い出を振り払って、今年は通常通り天候に恵まれて順調に製糖を進めております。約7万トン近くまでになると思っております。糖度も去年に比べて上がってきておりますので、これから非常に楽しみであります。終了は予定では4月8日をみております。天候によっては若干伸びる可能性があります。4月の中旬には終わらせて、春植えの株出しに影響が出ないように、農家の皆さんにご迷惑おかけしないように頑張りたいと思います。



ゲスト卓話：西大舩 高旬氏

竹富町長



去った9月14日に20代の町長として就任させて頂きました。今、我が町においては多くの課題が山積していますが、一番心配しているのは財政です。今、一括交付金がある中でなんとかクリアしている部分がありますが、これがなくなる5年後はどうなるのかなという思いがあります。しかし町民の努力、役場職員の努力の如何によってはふるさと納税等、いろんな形でのあり方もあると思います。また海洋基本法に基づく基本計画をしっかりと作り上げましたが、期限が切れ見直す時期にきておりますので、早速指示をして取り組んでおります。一番大事なのは石西礁湖、黒島、竹富、小浜、パナリの一带を石西礁湖群とって、最近話題になっております珊瑚の白化現象、この事をなんとか海洋基本計画に載せて、税収を生むような方策はないのか考えております。

選挙戦の時にマニフェスト「心が豊かで生き生きと暮らすふるさとづくり」を掲げて戦って参りました。基本的な目標を4つ掲げました。まず1点目に長年の懸案でありました役場移転を実現する事。2点目には協働と協調を共に生き生きと健やかに暮らせるふるさとづくり。3点目に竹富町の特徴や長所を生かした持続型社会の実現を図る。4点目に地方自治と分権を進め愛着と誇りを共有できるふるさとをつくって参ります。このような4つの基本的な目標を掲げて選挙に臨みました。

まず拠点となる場所を作る事。役場移転の中には、石垣市に支所を置かせてもらう、本庁を西表に移す。この件に関しては住民投票の結果、あるいは有識者委員会の提言の中にも含まれていますので、その事をしっかり踏まえたうえで、特に既に進めています、提言者の皆様のご意見の中で、やはり海上交通ネットワークが最初のスタートになるだろうという事で提言も頂きました。波照間から西表、西表から新城、新城から小浜・竹富というような島間交通をしっかりしない事には、役場移転の基本は成り立たないのではないかと思います。

それから役場移転にあたっては、最終的には財政のシミュレーションが必要です。移転した時に

果たして財政がどうなるのか、例えばパソコン、機械等に移した時にどうなるのか、移すことによってどれくらいの財源が必要なのか。膨大な金額がかかるという予測はできます。そういう諸々の問題を一つ一つチェックしていくと、大きな予算を持ってこないと移転できないのかなと、一歩引いた思いもしますが、しかし役場移転については住民投票の結果も出ましたので、引くわけにはいかないという思いで取り組んでいます。

それから支所について、支所を造る場合、一番利便性がある所はどこかと、やはり港界限、すると津波に弱い地域になってくると、上に上げるという話もあります。同時に各島々に、今出張所を置いています、まだない所、小浜・黒島・竹富島に出張所はどうするのか、このような出張所がない所も合わせて造って行かなければならないという事を考えると、今基金はありますが、まずそれでは厳しいという事が読み取れるかと思えます。同時に移転後、向こう30年、50年先、経済状況、あるいは産業体型はどうなるのか、シミュレーションが必要になります。今のままでは、農地法も守らなくてはいけない、珊瑚も守らなければならない、やまねこも守らなければならない、あるいはこれから世界遺産が入ってくると、とてもじゃないけど企業の皆さんが入ってきた時に、土地はあるのか、あるいは人口が増えた時に宅地はあるのか、農地を潰すのかというような課題が残ってくるわけです。

12月1日付で6名の若手の職員を選任して、竹富町の組織機構改革検討プロジェクトチームを立ち上げました。今まであった概念ではこれだけの大きな課題解決はできないだろうという想いで、委嘱を致しまして中間的な報告を受けております。最終的には明後日最終報告を受けますが、本当に歯車のあった、職員同士の歯車、上司との歯車をどう整備していくかというのがありますので、そのような機構改革を断行しようと今まであった概念は全て捨てて、新たな我が町を作っていくんだという想いから立ち上げて、進行中です。4月1日からこの事をしっかり町民にも、議会にも報告しながら、このような町づくりをするためにはこれだけのお金が必要であり、これだけの人員が必要なんだと、改革するためには減らすだけでなく、増やすことも改革なんだと、人も増やして、特に我が町は離島、島嶼の町ですので、行ったら1日

がかり、特に波照間に関しては2日かかりになります。今より以上の住民サービス、役場を移転したからサービスが低下した事にならないように、皆で頭をひねって答えを出して頂きたいと思ってお願いをしている所です。

先ほども触れましたが環境を守って、自然と調和したふるさとを作るためには、やはり山に囲まれ、海に囲まれている我が町、この自然を私は誇りに思っています。我が町の宝だと思っています。しっかりと海も生かし、山も生かし、自然と調和のとれた我が町を形成することこそが、我が町の発展に繋がると確信しております。

また我が町は文化がたくさん生きております。歴史があり文化があります。この文化を如何に継承し発展させていくかという事も大事な課題だと思っております。小さな島にも大きな祭りがあったり、波照間にムシャーマ、小浜のアカマタ、新城のアカマタ、大変残念ですが古見の豊年祭が昨年は出来ませんでした。なんとか復活して頂きたいと願っております。このような文化遺産をしっかりと受け継ぎながら展開していきたいと思っております。そういう想いから教育委員会に今教育課と総務課と2つありますが、文化教育課を新たに設置しまして、その中で文化関係の仕事を担当すると、出来れば竹富町の文化協会なるものを立ち上げて、文化協会の中でいろんな形でアピールできる場を作って行ければなと考えています。大事な文化遺産がたくさんあります。同時に遺跡等もしっかり受け継ぐあるいは伝えていくと言う事も文化教育課の中で展開していければ、後世にしっかりと文化遺産を継承していけるのかなという想いで教育関係には関わってまいりたいと思っております。もちろんこれまで同様子供たちが学業する環境は大事なことです。先だって教育長、教育課長とも話をしましたが、卒業式、入学式がくるので、しっかりと国民の象徴である国旗掲揚はもとより国歌斉唱をしっかりさせてくださいと、今も指導はしているけれども結果として残ってない。誇りを持てる我が日本だと私は思っております。そういう意味からすると卒業式には大きな声で国家を斉唱できる子ども達を育てて行ければなという想いです。日本国民として私は誇りに思っております。国民の一人として、永田町で訴えて我が町も国を守り国益にも貢献しているんだと、こんな想いを強く訴えました。国との連携を取りながら我

が町の展望を明るい兆しを創っていったらなという思いでございます。

我が町の想いの一端を申し上げましたが、どうか皆様のご指導ご協力も頂きながら我が町の展望を開いて心豊かで生き生きと暮らせる竹富町、ふるさとづくりに邁進して参りたいと思っております。

～例会風景～



西大舛町長
ありがとう
ございました。



1/20 石垣に観光で来島された大阪東南 RC 山崎様よりバナーを頂きました。

